SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**

事業者名：有限会社　前田商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念や経営目標は全体会議などの機会を通じて、従業員に説明し、共有している ・従業員は、会社のあるべき姿の実現に向け、組織を超えて協力し合い、新しい手法に挑戦する文化がある								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・月次の定期会議などで法令遵守の重要性を従業員に向けて発信している ・朝礼などで従業員に対して法令遵守の啓発に取り組んでいる																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取り引きに努め、月次の定期会議などで従業員に向けてその重要性を発信している ・不公正競争行為の禁止を含む行動規範を整備している ・従業員に対して公正な取引の啓発に取り組んでいる										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者、責任者として取締役を任命している ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響（可能性）については、定期会議や朝礼などで、従業員への啓発に取り組んでいる																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などに関心を持ち知識を高め、従業員に対して知的財産保護の啓発に取り組んでいる								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩事故に対しては月次会議や朝礼などで従業員へも啓発に取り組んでいる ・個人情報保護法にあたっては、従業員に対し勉強会を実施している ・取引先との顧客情報の漏洩防止に努め、適切な廃棄を行っている																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客からの依頼に迅速に対応し現場確認を行い、依頼内容によって処分先の選定をし、適正な処理を提案することで納得していただくなど双方向コミュニケーションにも取り組んでいる。また、その顧客の声が経営層にも届くよう社内のコミュニケーションにも取り組んでいる																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・商工会での活動を通し、他社の経営者や後継者との交流を持つなど、承継ができる環境づくり、後継者の指導育成に取り組んでいる								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び、職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している ・障がいのある者に対して、特別扱いすることなく、他と同等の作業内容で同等の賃金を支給している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全運転管理者を選定し、管理者講習（県公安委員会）を受け、その内容を従業員に落とし込んでいる ・バッカー車の清掃をこまめにし常に清潔を保ち衛生的に乗っている			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に沿って従業員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行っている ・性別や人種の違いによる差別的待遇は行っていない					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・週休二日制の導入、ノー残業を行っている ・有給休暇、育児休暇の取得奨励を実施し、健康増進、家事や育児、ボランティア活動への積極的参加などの環境を整えている			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部での研修の受講、勉強会,オンラインセミナーへの積極的な参加をし従業員にもその内容を周知することで会社全体で、社員の教育機会を確保している ・運転中型免許、建設機械等の免許取得についてその費用の全額を助成し、人材の向上に取り組んでいる				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断・大腸検査など業務上必要な検査について経費負担をし、予約・実施の登録が管理されている			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則において定年の定めはなく再雇用の実施や女性の雇用を積極的に行っている ・制服（作業服）を廃止し、個性を重視した働きやすい環境整備を行っている				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・日中、事務所のこまめな換気を行っている ・従業員間でグループチャットなどのツールを使用し、情報伝達ができるようにしている			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新

事業者名：有限会社　前田商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　　チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、マニフェスト伝票を用いて適切に処理している ・廃棄物の適切な取り扱いについて従業員に周知している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所内の電気は、こまめに消している ・CO2排出量の計算式を用いてエネルギー使用量を把握し、廃棄物の収集ルートの効率化をはかることで、ガソリン使用量、CO2削減に取り組んでいる							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO2排出量の計算式を用いてエネルギー使用量を把握することで現場に出る従業員も廃棄物の収集ルートの検証、効率化をはかるなど排出ガスの削減を意識して収集作業に取り組んでいる ・事務所のエアコンの温度を夏は高く、冬は低い温度設定にすることを徹底している		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・洗車場にろ過装置をつけるなどして、排水を浄化している ・事務所で出た野菜くずなどを敷地内の畑に戻し肥料として使っている ・廃棄物の適切な処理を行い、再資源化に取り組んでいる						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・裏紙の利用を促進し、ペーパーレス化に向けた取り組みを継続的に実施している ・事務所内のごみの廃棄場所に分別方法を明示区分している ・顧客（排出事業者）様にも分別してごみを出していただけるよう促している									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水道周りには全て「水道の栓の確認」の張り紙をつけ、「節水」や「汚水などの適切な処理」を実施している ・洗車時の節水を全従業員に徹底させ、水資源の保全に取り組んでいる		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事務所で使用する備品類については、再生紙やエコ商品などの環境に配慮した製品の購入・利用をしている									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・家庭での食品ロスの削減について従業員に推奨している ・会社敷地内の畑で野菜を作っているが、事務所内で生ごみが出た場合は一部、畑への肥料として再利用している	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・会社敷地内の花壇や植栽、事務所内の室内緑化を行い、緑の保全、管理に取り組んでいる ・畑で野菜を作り、収穫した野菜を従業員に配っている											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・事務所の照明については、すべてLED照明にしている ・社用車に一部、ハイブリッド車を導入している							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・マイバッグ、マイボトル、事務所内のウォーターサーバーの使用により使い捨てプラスチックやペットボトルの削減をはかり、海洋汚染の防止に取り組んでいる ・年に数回、委託を受け海岸漂着物の回収、清掃を行っている												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新

事業者名：有限会社　前田商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　　チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・会社の業務の重要性を従業員1人1人が理解しており、安全な作業を心がけるよう取り組んでいる ・収集担当や事務所で電話を受ける社員が窓口となり、顧客（排出事業所）や住民からの要望などがあった際には他の社員にも周知し、全員が対応できるようにしている			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・屋外にテントと椅子やベンチを設置し、来客者に気軽に腰をおろしていただけるような優しい環境整備に取り組んでいる									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の商工会と一体となり、夏祭りやイベントの開催の協賛や、地元企業が実施したクラウドファンディングに賛同し、支援を行うなど地域に根差した経営を行っている 従業員に対しても居住する地域の活動に積極的に参加するよう奨励しており有給休暇を与えるなど参加しやすい環境づくりに取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所内に防災備蓄、防災グッズを常備している ・地域のハザードマップを確認し避難行動について従業員にも周知している ・台風などの際、物が飛来しないよう常に敷地内の整頓、清掃を徹底している				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・過去に起こった災害時には従業員や塵芥車を派遣し、災害ごみ処理の業務にあたった経験を活かし従業員1人、1人のレジリエンスを高めるとともに新たに災害が起こった際、何時でも被災地へ派遣できるよう人員、車両の体制を整えている	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・ハローワークに求人を出すなど地元の学生や若者を積極的に雇用している ・優先して地元の方を採用し従業員のほとんどが地元出身者である				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。